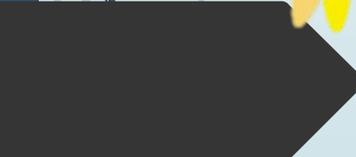




もっと「読みたい！」
もっと「知りたい！」
を大切にした子どもたちの学びを
支える学校図書館をめざして



高石市立取石小学校

東 ひろみ 森 祥平

これまでの主な取り組み

▶ 「朝の十分間読書」

- ・毎週月曜日に十分間の朝読書を行なう。

▶ 「読書週間」

- ・朝の十分間読書に特化した週間。一週間の朝学習を全て十分間読書にあてる。

▶ 「家族十分間読書」

- ・一週間、家族と共に読書活動をする。児童とお家の人にも感想を書いてもらい、図書だより等で発表する。

読み聞かせもします。



研究テーマ

「主体的、対話的で深い学び」

- 「読むこと」を意識した授業づくり
 - ・ 並行読書を取り入れ、単元を通して共通学習教材と関連させて読むことを意識する。
 - ・ 単元を通してつきたい力をみとる成果物を作成する。成果物を作成するまでに、話し合い活動を行なうことで、より対話的な活動を目指す。

上記を意識するために、図書館環境の見直しを計画した。

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面

- ・昨年度末から図書館のレイアウトや掲示物などの変更を進めてきた。
- ・廃園となる幼稚園から大型ソファや書棚を移管し、レイアウトの計画を進めた。
- ・色あせた掲示物なども新しいものに交換した。
- ・各種分類に合わせたモニユメントの展示・作成を計画。

これらの環境整備の予算は学校に充てられていないため、教職員のアイデアやリサイクル等ですすめている。

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面

- ・大型ソファの設置



子どもにも大人気のコーナーです。いつも席の取り合いになっています。

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面

- ・本棚一式の変更→暗い配色のものから明るい配色に



以前に比べ、収納可能冊数も増えました。

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面

- ・ 世界の名作コーナー



ムーミンとピーターラビットのぬいぐるみを置きました。
それに関する本も置いています。

学校図書館 改造プロジェクト

環境面

- ・ 季節や行事に特化したコーナー



夏休み前には「海」に関するコーナーを作りました。大きなサメのぬいぐるみも置いています。

学校図書館 改造プロジェクト

▶ 環境面

- それぞれの分類に応じたモニュメント



植物関係



恐竜関係

学校図書館 改造プロジェクト

▶ 環境面

- ・ それぞれの分類に応じたモニュメント



音楽の分野には、本物のヴァイオリンを置きました。すぐ隣にはそれに関する本も置いています。

学校図書館 改造プロジェクト

環境面

- 調べ学習の掲示コーナー



一学期末は3年生の昆虫図鑑を掲示していました。

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面

- ・環境面に配慮することで、以前に比べ明るい図書館になった。

- ・休憩時間の図書館来館者数が増える結果となった。

昨年度：1862人 今年度：2268人 →406人◎増

- ・一学期の貸し出し冊数も増加した。

昨年度：6193冊 今年度：7271冊 →1078冊◎増

学校図書館 改造プロジェクト

■環境面 まとめ

- ・児童は学校図書館の細かな変化に気付き、掲示物やモニュメントなどに興味を持つようになった。
- ・教師向けアンケートでも、学校図書館の整備に関する項目で肯定的な意見が100%でした。

図書館環境を見直し、改造・整理をすることで、より学校図書館が身近な存在となり、貸し出し冊数や来館者が増える結果となった。

学校図書館を活用するために

- ▶ 学校図書館のさらなる活用を目指し、井上一郎氏の「学校図書館改造プロジェクト」を参考にしています。
- 本を読む楽しさを教えよう
- 本を読む自由を獲得するために環境整備を行おう
- 各教科等で図書館を利用しよう
- 本を活用する単元展開を授業に改善しよう
- 児童が活用しやすい学校図書館に改造しよう
- 学校図書館で本を読む滞在時間を長くしよう
- 学校図書館で授業をしよう

めざす子ども像の共有

- 学校図書館での学習だけでなく、普段の学習においても意識すべき項目をまとめた掲示物を作成中です。



話す力、聞く力、話し合う力に特化した掲示物です。作成後、全クラスに配布・掲示予定です。

学校図書館担当と学校司書

- 学校司書→本市では週2日の配置となっている。
授業で使用する図書の選定や、市立図書館からの図書の貸し出しや返却をする。
- 学校図書館担当
学校司書が勤務していない日などは、代わりに図書の選定をする。必要な図書を各学年から聞き、授業までに準備を行なう。図書の授業を行なう。

学校内だけでなく、市内の司書連絡会などにも参加し、市内の様々な分野での連携を進める。

授業実践事例

■ 学校図書館を活用した授業の実践事例を紹介します。取石小学校では特に...

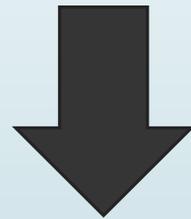
- ・ **導入段階で子どもと共につくる学習計画**
- ・ **単元を通して読み進める並行読書**
- ・ **単元を通してつけたい力をみとる成果物**

上記3つを意識した授業づくりを意識しています。

授業実践事例

▶ 昨年度までの課題

図書に関係する授業を計画する際、本校では学校司書に相談したいと思っても、学校司書が勤務される曜日が固定されており、勤務時間も17時までという制約があるため、なかなか相談の時間がとりにくい、という課題があった。



今年度より学校図書館担当が配置されたことで、教職員と同じ勤務体制で仕事をすすめることができるようになった。

授業実践事例 1

▶ 6年生国語科 私たちの町を紹介しよう

「おすすめの紹介 リーフレットをつくろう」

めあて：教科書教材を学習し、それをもとにリーフレット作りをする。

グループで助言をし合い、話し合い活動を取り入れる。

成果物：自分の町を紹介するリーフレット

(A4用紙 3~4つ折り 1000~1200字程度)

授業実践事例 1

▶ 6年生国語科 私たちの町を紹介しよう

「おすすめの紹介 リーフレットをつくろう」

成果：学校図書館の情報センターとしての役割を最大限発揮するために、図書だけでなくICT機器も活用し調べ学習をした。iPadやポプラディアネットなど、児童が使える資料の種類を多く準備した。

結果として、様々な情報をまとめることができ、内容量の多いリーフレットを作ることができた。

授業実践事例 1

▶ 6年生国語科 私たちの町を紹介しよう

「おすすめの紹介 リーフレットをつくろう」

課題 1 : 調べ学習において自分の町に関する資料は数に限りがある。学校図書館だけでなく市立図書館でも資料を探したが、見つからない場合が多い。今回の授業では、学校図書館の持つ「情報センター」としての役割を最大限発揮するためにICT機器を活用した。学校図書館内外の図書と並行してiPad40台、コンピューターを同時に活用することで、調べ学習を進めることができた。

授業実践事例 1

▶ 6年生国語科 私たちの町を紹介しよう

「おすすめの紹介 リーフレットをつくろう」

課題2：リーフレットを作成する際、マス目入りの用紙を使うのが良い。

→字の大きさや全体のバランスを整えることができる。

上記の課題は全学年において、意識する必要があると感じた。

→二学期からの学習ではマス目入りの用紙で統一予定。

高ガ
石ン
のバ
平ル
和ソ
を！
守る
体
去月
館



カモン高石

とアツクアツクな
普段はバレーボール
などができるスポ
センターであり、ホ
ンケルームなどであ
り普段から多くの人が
利用していて、災害時
には避難場所として
も使われます。

It is a sports center
where you can play
volleyball, basketball
or others, and it has
many facilities, for
example, training
rooms. So, many
people visit here
every day. In an
emergency it can be a

Kamon Takaiishi



海辺
スポーツセンター

なにができるの
アイススケートを始め、バスケ、
トホ-ル、テニス卓球、フット
等の練習や体験会が
大気と開かれます。

Seaside Sports Center

In Seaside Sports Center
you can practice ice
skating, basketball,
volleyball, tennis, table
tennis, badminton,
futsal, and others.
Sometimes, meets are
held here



アイススケートは
教室のための予約
が必要ですが、
アイススケートは
予約なしで利用可
です。

アイス
スケート

なんでもできるスポーツセンター

住民を助ける
生活の支え



アパラ高石
どんな所

アパラ高石とは複合
施設のことで、
たまたまスーパーがあつた
リストランテあつた、超便利
な施設です。

Apara Takaiishi

Apara Takaiishi is a
complex facility. It is very
useful because it has
a supermarket or
restaurants



(営業時間)
2F AM 9:30 ~ PM 8:00
1F 各店による

困った時に行つてみては
どうですか

アパラ高石



夜の絶景

工場跡とよばれる
工場跡とよばれる
ものもあり、このア
ツクアツクな場所
で色々な企業が
の盛りにあつた。今も
残つた大規模なア
ツクアツクな
It is sometimes
called "kojo-mae"
If you take the very
popular tour, you can
go places where you
can't go by yourselves



料金大人... 3000円
出発時間... 希望時刻
所用時間... 1時45分
出発場所... 親水アトラクション内



あなたも
なにかは
行くか
行くか
行くか

授業実践事例 2

▶ 3年生国語科 もうすぐ雨に

「物語のおもしろさを伝えよう」

めあて：物語の不思議な場面を読み取り、友だちにも紹介する。

本を紹介する成果物(本の帯)をつくる。

並行読書：紹介するための絵本 各自一冊ずつ

成果物：本を紹介する帯

(マス目付き用紙 100字程度)

授業実践事例 2

- ▶ 3年生国語科 もうすぐ雨に
「物語のおもしろさを伝えよう」

成果：並行読書を取り入れることで、単元の学習(本単元ではファンタジー教材をもとに、不思議なところを考える)をしながら、同時進行的に自身が選んだ図書の学習することができた。帯作りを始める際に、絵本の内容を理解した状態で次の課題に進むことができた。

学習計画

① 選んだ絵本のおびを作ることを知る。

「もうすぐ雨に」を読んで

「おもしろかった」「すきだな」感じた
ことをしようかいする。

② 物語をしつかり読む（どんなないようか）

③ 場面分けをして、あらすじをまとめる

④ 「ぼく」の言葉や気持ちのかわり方を考え
どんな風にかわったかまとめる。

⑤ 「もうすぐ雨に」で、

「おもしろかった」「すきだな」感じた
ことを書いて、しようかいする。

⑥ 選んだ絵本の「おもしろかった」
「すきだな」感じたことを書く。

授業実践事例 2

- ▶ 3年生国語科 もうすぐ雨に
「物語のおもしろさを伝えよう」

課題：3年生での帯作りは少し難しい(本来は5年生指導事項)
→ **字数を決めて作る。(100字程度のあらすじ)**

時数制限の中で文章をまとめ、紹介するための練習時間をさらに多くとる必要がある。

→ **時間がかかるため、国語科以外の時間(図書的时间等)も活用する必要が出る。**

授業実践事例 2

▶ 3年生国語科 もうすぐ雨に

「物語のおもしろさを伝えよう」

<p>おもしろいな、すきだなと思うところを書こう。</p>											
<p>作者 題名</p>											
<p>絵本の題名・作者</p>											
<p>本のおびをつくりまします。自分がえらんだ絵本の「おもしろいところ」を書きましよう。1回目、そなた、友だちと見せ合えたら「エック」しましよう。2回目は、なにか「エック」をすきは、読みたいと思</p>											
<p>本のひをつくらう</p>											
<p>組名まえ</p>											
<p>名まえ</p>											
<p>いいね!</p>											
<p>あと少し!</p>											
<p>読みたい!</p>											
<p>あと少し!</p>											



実際に帯を作る前に、ワークシートを活用し、紹介したいことをまとめる。

友だちと交流をし、記入し合う。

授業実践事例を振り返って

- ▶ 主体的・対話的で深い学びを目指して

リーフレットや帯作りなど、成果物を作成する際には話し合い活動の時間を設定しています。紹介しようと思った動機を交流することで、自分にはない考えを知ることができたり、自身の意見を発表する機会にしている。

普段の授業から、これらの活動を通してさらなる深い学びにつなげていきたいと感じている。10月の研究発表に向け、さらに取り組みを進めたい。

教職員の変容

▶ 各教科における図書活用について

各教科に関する図書や、並行読書に関する図書の貸し出しが増加した。また、授業の中で図書館関連資料を活用する時間も増えている。

▶ 学校図書館運営への協力

家庭で使わなくなった図書や、分類に応じて活用できるモニュメント、植物等の譲渡が多くあった。

→ 図書活用に対する意識が少しずつ高くなっている。

今後の課題

- ▶ 図書館利用者の増加を目指して
学校図書館の平日利用は増えたが、休日や放課後の公立図書館の利用増を目指したい。
→公立図書館や司書教諭と連携し、図書便り等による宣伝をしたい。
- ▶ つけたい力の明確化
言語活動をさらに意識し、授業づくりに関わるための計画を整理し、授業改善に向けた取り組みをする必要がある。

今後の課題

- ▶ さらなる学校図書館の活用をめざして
 - 一学期は環境面の大幅改良などに多くの時間を費やした。二学期からはさらに学校図書館を活用した授業の計画・実施に力を入れたい。
 - 調べ学習の様式やきまりなども作成し、より円滑に授業が進むよう配慮したい。
- ▶ 環境整備
 - 二学期以降、机や椅子の大型設備の整備を進める。背もたれが破れている椅子も少々あり、交換をしていく。

さいごに

■ 学校図書館と共に

学校図書館の整備や、図書館を活用した授業を考えることで、

学校図書館の環境が改善し、来館者・貸し出し冊数が増え、図書に対する興味・関心が大きくなる。



調べ学習や、図書活用の授業が多くなる。図書を活用した授業の質が向上する。



国語科を中心に、「主体的、対話的で深い学び」をさらに学校全体で進めていく。

さいごに

2学期に向けて、各学年の授業や図書館整備をこれからも進めていきたいと思ひます。

1学期の取り組みを通して、多くの反省点もありますが、教職員とともに、学校図書館がより活性化する取り組みをしていきたいと思ひます。

ご清聴ありがとうございました。